

とくに仰て今の中後五日をいふ致依並
武家方より二ツに別れては中より千戈の
鳴止付なりり——とあり同あり是曰出羽
按察使為頼り 三代実録を見るに五日と按察使ハ
格別之為頼一人として職を帯きしれ
りやあは一の名をとして案をいれり。仙後
大瓦毛と号し一守ハ分の約子金夜痛の
鞍きていられり。とあり同三之是為軍家
石清水内系信の系下に按察出羽左衛門
兼といふあり為頼の子なりや同二十九
是曰実忠國の系下に実忠はより性以武

家兼劍の初斯波尾張守直持を拒絶する府
同源親方兼為頼を按察使としてあは波
下知し是と云く同系下に実忠新波大崎丸
京方吏政連同源親方吏政兼おたり智と集
為軍に力をして付付として同意の五人亦を
預りりと云く戸沢難延清水白鳥山色長
瀬延沢左兵衛上村山氏兼右衛門白岩木是
なり同是曰羽州より上源親方吏政兼と
伊達の勢とおいとむで一日は七夜もめり
系より戦と云く政兼ハ出羽左衛門兼の子